

| 2年 流れ学(2) 担当者:島野 | |
|--|--|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| <p>プロジェクターが前に2つあって、先生が説明できるプロジェクターが1つに限られてしまい、遠い所からだと見にくいので、改善してほしい</p> | <p>横長教室の特性なのでなかなか難しい面もありますが、レーザーポインタでスクリーンを直接指すのではなく、PC画面内でポインタを動かすなどの工夫をしたいと思います。ただ、学生諸君も前の席に座るなどの努力をしてください。前の方にいつも空席がありました。</p> |
| <p>プリントの字が小さい(他に同様意見4名)</p> | <p>この問題は以前から学生諸君より指摘を受けているものであり、改善の努力をしてきましたが、効果的な解決策はないということが分かりました。まず、A4用紙1ページに6コマのスライドを印刷して配布しているので、添え字などの小さい文字のいくつかはどうかんばってもつぶれてしまいます。だからといって1ページ当たりのコマ数を増やすと印刷コストが莫大になり現実的ではありません。そもそも、プリントは飽くまで授業の補助として配っているものです。色々と複雑な図が専門の授業では出てきますが、それをノートに写すのに必死になり耳が疎かになってしまうのは問題なのでプリントを配布しているのです。文字情報は学生諸君が授業に出席していれば見られるものですし、書き取るのに時間もそれほどかかりませんから、今後はなるべくプリントに文字情報は出さずに画像や図に一本化するようの方針転換をします。</p> |
| <p>TAがうじゃうじゃいすぎて笑った 教員の能力がそんなにも低いのか 授業が面白くない 寝てると下半身出してるのと一緒の意味が分からない。”狂言”</p> | <p>試験監督補助を研究室の学生に依頼しているのは、試験を適正に行うために必要なことで、教員の能力とは関係がないことです。また、その監督補助者の人数が多いのは、受験者が100人近くもいることに加え、22C教室が横長で監督がやりにくいという性質にあるのであり、これも教員の能力云々とはまったく関係のないことです。こうしたことは少し考えればわかるのであるのに、あえてこのようなコメントをするのは悪意のある誹謗中傷と評す以外にありません。匿名ををいいことに、誹謗中傷するのは大人として恥ずべきことです。</p> <p>授業が面白くない(not amusing, not entertaining)のは当たり前です。テレビのバラエティ番組などと同列に考えるべきではありません。授業が面白いのはinterestingという次元であり、現に多くの方がそのような感想を抱いてくれています(下のコメント参照)。ところがこのコメントを書いた人にはそれが理解できないようで、それはinterestingと認識できるだけの基礎勉強が欠けているからでしょう。数学や物理などの基本に立ち返って復習するよう強く勧めます。</p> <p>物事を説明する上で、アナロジー(analogy)という論法があります。たとえば「現代のIT技術は戦国時代の鉄砲と同じだ」と言う人がいます。どちらにも旧来の常識を打ち破って新しい時代を築いていくだけのポテンシャルがあり、また人々の生活に与えるインパクトも強い。そこに着目してこうした表現を使うのです。これに対して「ITは人殺しの道具ではないから鉄砲と同じではない」と文句を言う人がいるとしたら、それは大人がわかまえておくべき議論の作法を知らないかわいそうな人です。「授業で居眠りをするのは下半身を露出するのと同様」というのはまさにこのアナロジーに則った表現です。周りの人に与える不快感が著しく強いのは両者共通であり、自分が周囲に不快感を与えていることへの自覚がまったく欠如しているという点でもやはり共通しています。さらに言えば、そのような姿を見せられる側の人間を侮辱しているという点もまったく同じです。我々教員が授業をするのにどれだけの労力を払って準備をしているか想像したことがありますか？授業の場で堂々と寝ているというのは実に許しがたい侮辱です。人に対する礼儀のかけらもありません。また一生懸命に勉強しようと大学に通っている学生諸君が少なからずいるのです。彼らは学ぶことに価値を見出して教室に来ているのに、その横で大口開けてガーガー寝ているのは侮辱以外の何物でもありません。魂を汚されたが如く感じるのです。さらに言えば、君たちの学費を負担している親御さんへの侮辱です。年間百万円を超える学費を捻出してくださるのは、真剣に学ぶことを期待していればこそです。それにも関わらず教室で寝ているというのはいったいどういう神経なのでしょう。親御さんのわが子に対する愛情を踏みにじてまさに侮辱しているのです。そのような行為は恥知らずという点で、まさに下半身を露出する輩と共通しています。</p> <p>総じて、このコメントを書いた人はもっと勉強をすべきです。工学的な基礎知識、論理的に考える習慣、そして国語力(こういう場面で狂言などという言葉は使いません)です。また、担当教員について悪意を抱いているのは期末試験ができなかったからでしょうか？単位を落としたことで担当教員を恨むのは筋違いというものです。もっと勉強をして学力的にも精神的にも成長してくれることを強く期待します。</p> |

| | |
|---|---|
| どうせ改善しないのだからこのアンケートは不要だ と思う どの教員も全く改善が見られない | こうした非建設的なコメントには回答しません |
| 2年 流れ学(2) 担当者:島野 | |
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 演習は授業を理解するのにとても役に立った. | 肯定的なコメント、感謝します。3年生以降も興味をもって頑張っていたきたいと思います。 |
| とても緊張感のある授業だったがわかりやすかった. | |
| ムーディー線図の見方を理解できた. | |
| とても分かりやすく、ためになりました(同内容他に 3件) | |
| 何故このような式になるのかという過程がよく分かる 講義だったので、興味を持ってました. | |
| 身近な実例をあげて説明していたのでイメージが つかみやすかった。また、興味を持ちやすかった. | このように一見相反するコメントをもらうとどのようにしてよいのか判断に迷います。水や空気など身の回りには常に流体が存在しているので、それを題材にするように努力はしていますが… |
| もっと身近な例について話してほしいです. | |
| 授業内容のものが、現実では具体的にどのように 扱われているかもっと話を聞きたかった. | 3年の流れ学(3)や熱流体システムなどの授業を是非履修してください。 |
| 新しい事象について具体的な例を挙げてくださる のは非常に役立ちます。ただ、私事ですが血液等 の話を聞くと気分が悪くなってしまうのでそういった 人への配慮もお願いします. | 血液について話を聞くと気分の悪くなるいわゆる「血液恐怖症」についてはカウンセリング等の対策によりかなり改善すると聞いています。将来的なことも考えてそうした努力をしてください。授業での話をストップしてしまうと、機械システムの知識の医学分野への応用という重要なテーマが欠けることになるので、続けざるをえません。 |
| テストに近い形式での問題演習をしたかった. | これらの意見の根にある考え方は共通しています。要するに試験対策をやりやすいシステムにしてほしいということです。しかし、それは根本的かつ重大な考え違いです。「勉強＝試験で点を取ること」、「勉強＝記憶すること」ではまったくありません。似ているものでもありません。大学における勉学とは世界観や物の見方を身に付けることであり、試験前に対策を数日とか1週間やってなんとかなるものではありません。毎日コツコツ努力を重ねた結果身に付くものです。だから、試験があるから試験対策をするなどという考え方そのものが間違っています。日々の努力をする気がない人たちが、試験対策をやりたがり、試験対策のやりやすさを要求します。1年365日の大半をまったく勉学とは違う世界で明るく楽しくホカホカと遊んでいて、試験の数日だけ仕方なしに試験対策をやるとうるので、効率(＝対策のやりやすさ)を求めめるのでしょうか。しかし、繰り返しますがそのようなことは、勉強ではありません。 |

| | |
|---|--|
| <p>覚えなくてはいけない式がいくつもあって、期末1回のテストだけだとつらいです(他に同趣旨の意見4件)</p> | <p>せん。勉強をした気に本人が一瞬なるだけです。それが証拠に試験が終わって1ヵ月もしたら頭の中に何も残っていないのではないですか？このまま世の中に出てプロのエンジニアとして通用するという自信など身に付かないのではないですか？このようなことを半年に一回繰り返していたら、つまらないのは当たり前です。理解できないのも当たり前です。学生生活は楽しくないし、エンジニアとして社会に出て働くことも苦痛のはずです。 つまり、「勉強＝試験で点を取る事」、「勉強＝記憶すること」という間違っただけの考え方が染みついているがために、残念ながら自らを自らの手で不幸にしているのです。 この考え方は小学生からずっと続いていて、日本の学生がなかなかこれから抜け出すことができないのは知っています。しかし、これからすぐに脱却しないと勉学生生活がひたすら苦でしかありません。学ぶことが日常生活の当たりの風景になるような習慣づけをする以外にないのです。そこから知的好奇心がわき、学ぶ喜びがわいてくるのです。もちろん試験があるからといって大騒ぎする必要もないのです。</p> |
| <p>2年 流れ学(2) 担当者:島野</p> | |
| <p>学生コメント</p> | <p>担当者回答</p> |
| <p>授業後小テストより、授業前に前回の復習小テストの方が身に入ると思います。</p> | <p>数年にわたり授業開始時に小テストを行う方式で実施したことが過去にあります。しかし、来週までに勉強しておけばいいや、という態度の学生が多数を占め、授業を集中して聴講しない傾向が顕著に見えたので現在の方式に変えました。まずは授業を集中して聴かないことには何も始まりません。また、授業を聴かずに居眠りをしたり内職をしたりしている者が、真剣に授業を聴いている人と同列に評価されないようにするのも重要だと考えています。</p> |
| <p>授業がのびて昼休みがへる。採点はしてください。</p> | <p>小テストの結果から自分の理解不十分なところを認識し、復習で再確認するためにはその日のうちに採点結果を出す必要があります。点数が知らされるだけでよいのではなく、復習に役立てるためのタイミングが重要なのです(鉄は熱いうちに打て)。</p> |
| <p>小テストの時間短い。</p> | <p>むしろ長いくらいです。あの程度のレベルの問題を時間内に完了できないのは、再三言っていることですが、普段から数式を処理する習慣がついていないだけのことです。つまり、こうした感想を持つ人は自分の勉強が足りないことを自ら認めているのに他なりません。数式処理能力も含めて当然ながらエンジニアの実力なので、小テストの時間を長くする考えはまったくありません。</p> |
| <p>小テスト前に演習をもっとやってほしいです。</p> | <p>小テストには授業のストーリーをそのまま出題しているのですから、そのための演習など作ることは不可能です。</p> |
| <p>説明中にPPTを表示されていたので授業後になって、板書を忘れていたことに気付くことが多々ありました。</p> | <p>コメントの意味が理解できません。主語は誰ですか？</p> |
| <p>自分でも服で温度調節しましたが教室が温かすぎました</p> | <p>一般論として授業中にあまり高温環境下に学生を置くのは集中力を欠く原因となるので避けるべきだと思っています。しかし、一方で寒いと主張する人もいます。やはり全員が快適に感じる環境など作りえないので、衣服で各自が調整する以外にありません。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>テスト毎の席替えはいらなと思います。効率のためなら最初から席を固定する等にしてほしいです。</p> | <p>上の意見と関連しますが、席を最初から固定すると「自分の指定された席は寒すぎる」、「自分の席は暑すぎる」といった空調に関する文句が出ます。黒板やスクリーンが見つらいなどの文句も同様に出ます。したがって長時間を要する講義については自分で席を選ぶのが適切と判断しています。ただ、試験時はどの席に誰が着席しているか明らかにしておくことは不正行為防止上重要なことであり、席替えを実施しているのです。匿名性が高い状況であるほど不正は発生しやすいからです。</p> |
| <p>期末テストの日程をなるべく試験期間中にしてほしい。</p> | <p>運営上のルールに従って決めているので、要望通りにすることは困難です。</p> |
| <p>流れ学(1)より面白い話が少なくて残念だった。</p> | <p>その通りですね。もう少し面白い話を盛り込むように努力します。</p> |

| <p>3年 熱流体システム 担当者:島野</p> | |
|---|---|
| <p>学生コメント</p> | <p>担当者回答</p> |
| <p>流れ学(1)(2)に比べて授業内での演習、演習問題自体が少ないように感じました。もう2,3増やしてもよいのではないのでしょうか。</p> | <p>この科目は低学年向けの科目ではないので、演習や練習問題の類はこれまで通りの分量で十分だと考えています。そもそも諸君らが演習問題を求める理由は何でしょうか？「理解度の確認をしたい」といえば聞こえは良いですが、結局のところ試験で点を取るための訓練をやりたい、あるいは試験対策を十分やったという安心感を得たいという気持ちから要求をしているはずで、小学生の算数ドリルから始まり、これまでずっと「練習問題の繰り返し⇒試験での高得点」という図式に則ってやってきたので、このパターンから外れることにものすごく違和感を感じているのです。もっと正確に言えば、「勉強すること＝演習問題の繰り返し」と信じていて、これ以外の勉強法がこの世にあることを知らないのでしょう。そして、おそらくこういう要望をするのはそれなりに良い成績を取っていて、自他共に「意欲がある」と認める学生諸君でしょう。それが分かった上で、あえて厳しいことを言います。</p> |
| <p>もう少し練習問題があるとうれしい。一問を何度も解いて解けるようになって覚えてしまったのか解けるようになったのかが分からなくなってしまうことがある。幅広く手を出しすぎるのもよくないのかもしれないが、あと一、二問は欲しいと感じる</p> | <p>その考え方は大間違いです。その考えに固執しているとこの先自分で自分の首を絞めることになってしまいます。諸君の多くはすぐ4年生として卒業研究に取り掛かります。研究とはこれまで世界の誰も解決していないサブジェクトに挑戦し、新しい知見を得るということです。そのようなものに演習問題や答えは存在しません。また、研究を遂行するプロセスで新しい概念や手法をたくさん学ぶことにはなりますが、そうした最先端の技術的内容についていちいち演習問題と答えがセットで用意されていることなど絶対にあり得ません。世界中に研究者が何百万人といえるはずですが、彼らは毎回毎回新しいことを勉強するために演習問題を解いているのでしょうか？たとえば山中教授はiPS細胞の研究に取り掛かるとき、ひたすら関連分野の演習問題を解いていたのでしょうか？そのようなバカなことがあるわけないというのは、常識的に考えればすぐわかることです。それなのに、諸君はいつまで演習問題を求めるのでしょうか？演習問題の効用を否定するものではありませんが、それは入門的内容を繰り返しやることで、工学的センス、考え方やアプローチを体得することが目的、すなわちビギナー限定の勉強法なのです。演習問題をいくらやってもその先に研究はありません。人類福祉の発展に寄与するようなイノベーションもありません。だから卒業研究を目前にした3年次の科目でそのようなビギナーレベルのことをやるべきではないのです。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>授業の終わりに演習問題など行ってはどうですか。</p> | <p>一度工学の基礎的考え方が身に付いたら、その後は次元が昇華した「一を知り十を知る」する勉強が可能になります。すなわち、一つの情報インプットを受けて、自然に自分の頭の中で別の十の情報を作り出すことができるのです。アマチュアではないプロのレベルの勉強法、新しい価値を創造するための勉強法というのはそういうものです。</p> <p>それに対して、演習問題を何度も徹底してやるというのは、工学的な考え方や物の見方がまだあやふやなビギナー向けの勉強法です。もしもこれをやらないと不安で仕方がないというのなら、ビギナーレベルから脱却するだけの基礎勉強が足りていないという証拠です。そういう人はこれまで単に試験攻略テクニックだけで切り抜けてきたのではないのでしょうか。それは12月に実施した工学基礎試験の成績を見れば分かります。あの基礎試験は英語でいえばABC、算数でいえば掛け算九九のようなもので、激しい下痢に襲われていても、38度の高熱でうなされていても8割はできなければおかしいレベルのものです。高得点だけを目標して浅薄な試験対策をするのは愚かなことですが、逆に工学の本質部分を理解していれば試験対策などまったくやらなくてもあの程度の試験ではいくらでも高得点ができるのです。工学の基礎的考えが常識的かつ日常的に身に付いているというのはそういうことです。これ以外の状態を指して「工学の基礎が身に付いている」とは絶対に言いません。あの基礎試験で8割取れないならば、もっと以前の流れ学(1)、熱力学(1)、さらにさかのぼって工業力学や物理学など低学年時の復習をするべきであって、この熱流体システムという高学年科目において「もっと演習問題をやらせる」などというのは実に本末転倒な要求をしていることになるのです。</p> |
| <p>演習問題を増やしてほしい(授業内で触れずに配布資料に載っているだけでいいです)。</p> | <p>3年までの成績が極端に良かったトップレベルの学生なのに、卒業研究になるとパタッとまったく何もできなくなるということが過去に何度もありました。逆に3年までの成績は低迷していたのに、中には留年までしていたのに、卒業研究に取り掛かったら目からうろこが落ちたようになり優秀な研究成果を挙げる学生もいました。なぜこのような違いが起こるのでしょうか。これは詰まる所、演習問題的に答えを出すことに固執し続けたか、それとも頭を切り替えて本質的な勉強法にシフトしたかの違いだと私は分析しています。ですから現段階で成績が良い人はおごることなく謙虚に勉学、研究に取り組んでほしいと思います。また、成績不振と思われる人も悲観することなく努力してください。</p> |
| <p>3年 熱流体システム 担当者:島野</p> | |
| <p>学生コメント</p> | <p>担当者回答</p> |
| <p>木曜4限じゃなく2限にしてほしかったです。</p> | <p>他の授業(他学年も含めて)との関連があるので簡単に開講時限を移動することはできません。木曜2限には私は他の授業を担当しています。</p> |
| <p>とてもわかりやすくて良かった。先生の熱意が伝わった。</p> | |
| <p>授業の説明はとても分かりやすかった。たまにする雑談が聞いていてためになるものと思った。</p> | |
| <p>もっと見やすい大きなプロジェクターで授業を行って欲しい。また、近くでも見にくいのでかいぞう度を上げて欲しい。</p> | <p>近くでも見にくいというのは、視力の関係でしょうか？7号館のプロジェクタには古い物が多く、性能的に改善が必要だと考えますが、近くで見えないというほどひどいのでしょうか？使用するフォントによっては見づらいものがあるのは事実ですが・・・</p> |
| <p>見づらかったのでプリントの図をもっと大きくしてほしい。</p> | |
| <p>パワーポイントのプリントの中で小さい字や図の中の字がにじんでいて見にくいものがありました。</p> | <p>文字情報はプリントに印刷せず、毎回スクリーンで確認する方式にシフトしようと思います。</p> |

| 1年 工業力学 担当者:大谷 | |
|---|---|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 「わかりやすい講義でした。」「良い授業だった。」22名 | 判りやすい授業とするために、パワーポイントを利用して授業をやっています。さらに判りやすい授業を目指します。難しい授業だ。つまらない授業だ。と答えてくれた学生は「何が、どこが難しいのか。つまらないのか」より具体的にアンケートに書いてもらわないと改善しようもありません。今後他の授業のアンケートにより具体的に記述してください。 |
| 「難しい授業だった」「つまらない授業だった」-5名。 「易しすぎる」1名 | |
| 「小テスト」の用紙が小さい(1名), 時間が短い(5名), | 小テストは前回の内容確認と遅刻防止のために授業冒頭に行っています。前回の授業で出した課題を自身で解いていれば容易に解ける時間を設定しているつもりです。用紙が小さいというのは1名ですが、もう少し大きい用紙を使います。 |
| 「課題」に関して、課題の解等も授業内でやってほしい。 9名 | 課題はその授業を聞いていれば、解けるはずの問題を出しています。教科書の後ろに正解とヒントが書いてあるので、自分で解く努力をしてください。課題の解説を授業内で行うだけの時間はありません。自主的に解く訓練も学修の一つです。今後も解説するつもりはありません。 |
| 授業内容のPDFのアップに問題が多い。 10名 | 授業内容のPDFを研究室のホームページに挙げていますが、今年度はホームページが開けなかったりトラブルが多かったことを反省しております。次年度からはホームページのチェックを頻繁に行い、トラブルを解消するように努力します。 |

| 1年 工業力学 担当者:佐藤 | |
|---------------------------------|---|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 中間試験の時期を一週間遅らせてほしかった。時期的に無謀だった。 | 講義が始まってすぐに中間試験が実施されたというように感じたということではないかと思いますが、講義日程としてはちょうど半分の時期に実施しました。遅くすれば期末試験までの学習範囲に影響が出ますので、この要望を聞き入れることはできません。理解ください。 |

| 3年 ロボット工学(2) 担当者:佐藤 | |
|---|--|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 自分の研究室に関する内容であるため興味深かった。 | 興味を持てたのであれば非常にうれしいです。しかし、本講義の内容はロボット工学のまだ入り口。引き続き興味を持ってより深く学んでいってください。 |
| 研究に必要な科目であり、興味のある内容であったのでおもしろかったです。冗長についてもやりたかったです。 | 前半については同上。後半の冗長については、担当者としても取り上げたい内容でしたが、受講者全体の理解度を考慮し、またシラバスには未記載の内容でしたので、次年度以降の検討事項とさせていただきます。 |
| シラバスに固執せず、生徒の理解度に重きを置いていた点は良かった。 | 理解度を重視したことが好意的に感じられたことはうれしいですが、シラバスの記載内容を守った講義を行うことは重要なことです。担当者としては手放しでは喜ぶことはできません。履修内容と理解度の両立が可能になるように努力したいと思います。 |

| 1年 技術日本語表現技法 担当者:野中 | |
|------------------------------------|---|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 大変だった。(10名) | 苦勞して勉強したことはきっと身に付きます。上級学年で実践して下さい。 |
| 大変だったが勉強にもなった。(15名) | |
| 発表をもっとうまくやりたかった。(4名) | |
| レポート作成技術/プレゼンテーション技術が向上してよかった。(6名) | |
| 毎週の課題が大変だった。(2名) | |
| 実験レポートと書き方が大きく異なっていたように思った。 | データを実験ではなく資料からの収集だったので、零からレポートを作った結果、その様に思ったのかもしれませんが。しかし授業で学んだ出力型技術は共通です。今後の学生実験のレポートでも活かしてほしいと思います。 |
| 説明がわかりやすかった。(6名) | どうすればわかり易く説明できるか、皆さんも常に工夫して下さい。 |
| 再レポートを繰り返すのはやめてほしい。 | 不十分なレポートで完成にして良いわけがありません。一度で合格になるようにしっかりとしたレポートを作ってください。 |
| 統計処理が勉強になった。 | この授業では統計の基礎を学びました。授業の参考書などでさらに高度な統計処理を勉強するとよいですね。 |
| 提出までの期間が短かった。 | 1週間で十分に終わるようにしているつもりです。課題はすぐに取り掛かるとよいと思います。 |
| 年内に発表を終わらせてほしい。 | 1時限目なので残念ながら時間延長できないため、一部の人は新年に持ち越しになりました。 |
| 発表中の時間は、ベルでなく紙などで知らせてほしい。 | 検討したいと思います。 |

| 2年 システムダイナミックス 担当者:野中 | |
|--------------------------|---|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 復習の部分は退屈だった。 | 他の授業で学んだ知識をこの授業の見方から説明しました。退屈だったということは、見方の違いを理解しなかったのかなと心配です。 |
| Matlabの演習で理解度を深められた。(7名) | システムの特性を確認するためにとっても便利です。今後も活用して下さい。 |
| Matlabは家でできないことが不便。(4名) | 類似のフリーソフトがいくつかありますので、利用するとよいでしょう。 |
| 授業回数が多かった。(4名) | 既定の授業回数の授業を行いました。補講が多かったので誤解があったかもしれません。 |
| 説明はわかり易かった。(7名) | 将来は皆さんも難しい概念をわかり易く説明することが求められます。参考になればと思います。 |
| 曜日ごとに教室が異なるのはやめてほしい。(4名) | 他の授業との調整の結果、やむを得ず違う教室を利用しています。 |
| 計算が多かった。 | システムは数式で記述されるので必然的に計算は多くなります。 |
| 小テスト/演習の時間が短い。(7名) | 調整したいと思います。 |
| 宿題が多くて大変。 | 大変なものほど勉強になります。 |
| 演習を増やしてほしい。 | 調整したいと思います。 |

| 3年 制御理論 担当者:野中 | |
|-----------------------------|--|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 説明がわかり易かった。(11名) | 将来は皆さんも難しい概念をわかり易く説明することが求められます。参考になればと思います。 |
| 黒板の字がわかり易かった。(2名) | 黒板の使い方は特に気を付けているつもりです。しかし、赤い文字は確かに好ましくないですね。今後は改善したいと思います。 |
| 黒板で赤い字が見えにくかった。 | |
| 休講・補講が多かった。(5名) | たまたま授業日に重なる学会出張が多かったために、休講・補講が増えてしまいました。 |
| 授業の進行速度が速かった。(2名) | 休講で日数が空いてしまうことが多かったので、復習の時間を増やしました。結果として説明する量が増えて速度が上がったのだと思います。 |
| Simulinkの演習で理解を深められた。(6名) | システムの特性を確認するためにとっても便利です。今後も活用して下さい。 |
| Simulinkの説明で早すぎる時があった。 | わからない部分があれば、演習時間などで遠慮せずにどんどん質問して下さい。 |
| Matlabを使用できない時がありました。なぜですか？ | ネットワークシステムの問題だったようです。翌週から解決されました。 |

| 2年 機械材料 担当者:今福 | |
|---|---|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| テストの時に監視役をもっと増やすべき。 なにかあってもすぐに対応してもらえない。 | 教員一人なので監視役は増やせないが、監視し易いように座席の分散を図ります。 ”なにかあっても”の”なにか”とは具体的には何のことでしょうか？ |
| 授業自体はつまらなくないが、一限なので眠くなる ことが多い。 | 貴君の心構えの問題です。 朝から晩まで勉強できるのが学生の特権です。貴重な時間を無駄にしないように。 |

| 2年 材料力学(2) 担当者:今福 | |
|--|--|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 演習を増やしてほしい。 なぜこの関係が成り立つのかを詳しく解説してほ しい。 | 限られた授業時間内で解説と演習を半々でやっている。これ以上演習は増やせない。 各自、予習復習の時間を取って自主的に章末問題等に取り組んでもらいたい。そうすれば原理の理解も深まる。 |

| 1年 機械工作実習 担当者:熊谷 | |
|---------------------|--|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| NC工作機械をもっといじってみたかった | モノづくり支援センターは課外活動や卒業研究などで利用することが可能ですので積極的に利用してください。またでは工作機械の講習会なども実施しています。 |
| 研削加工での課題の意図が分からなかった | 考えても分からない場合は、担当教員に質問するなどしてください。 |
| 様々な工作機械がいじれてよかった | 実際に自分の手で機械加工を行うことで、機械設計のセンスが養われるものと考えています。同様の授業(演習科目など)でも積極的に授業に参加して、経験を積まれることを期待します。 |
| レーザー加工がやりたかった | 工作実習では限られたリソース(設備、時間、費用)の中で、機械系技術者にとって最も必要と思われる機械加工を中心に 行っています。本学科のカリキュラム内ではレーザー加工を行う機会はありませんので、講習会や展示会、工場見学など機会を探して参加してみたいはいかがでしょうか。 |

| 2年 電子回路 担当者:田中 | |
|---|--|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| <p>世の中のどんなところで役に立つのか。どうつながるのか。なんとなくこの授業で分かりました。試験頑張りますが、進級かかっているので、万が一の場合は、お願いします。</p> | <p>なるべく、実際の社会とのつながりを示して、学修の意義を理解してもらおうと思っています。</p> |
| <p>チャイムが鳴った時はいないのにいつの間にか教室に入ってきて黒板に何も言わずに書き始め、余談のせいでチャイムが鳴っても授業が終わらない。1限なのに。次も授業があるのに。Quizも2ページも飛ばして。もっとペースを考えて予定通りに終わるようにしてください。</p> | <p>進捗が遅く、終わる時間が授業時間をオーバーした回が多かったことについては、改善するように努めます。ただ、皆さんの理解度を確かめつつ進めていったため、やはり進みが遅くなっていると思われます。なお、余談だと思われる部分は、実は学修していることと実社会との関係を述べていることが多いので、無駄な部分であると思っはもらいたくないと思います。</p> |
| <p>教室がさむかった。(12/11)</p> | <p>広い教室で、かつ断熱効果の少ない教室(820)でしたので、気温が低い日は寒かったかもしれません。来年度以降は新しい校舎での授業になるのではないかと思いますので改善されると思います。また、大人数の授業ですので、大教室になるのは仕方がないかと思いますが、来年度からは、21Cなどのあまり奥行きが無い教室を配当してもらえよう、頼んで見ます。さらに、声が聞こえるよう、マイクを使っての授業にしたいと思います。添え字についても、なるべく大きく書くように心がけてはいるのですが、まだ小さいようなので、更に改善します。ただ、多くの場合、最前列あたりは席が空いていたような気がします。この授業では、あまり遅刻してはいなかったと思いますが、終わるのが遅かった回が多々あった点については、改善したいと思っています。</p> |
| <p>教室を変えてほしい。席が後ろのほうになると黒板が全く見えない。実験と平衡(ママ)して実習するので、理解度が深まったと思う。</p> | |
| <p>教室に奥行きがあり、うしろの方に座ると声が聞き取りづらい。黒板が見えにくいでした。</p> | |
| <p>時間は守っていただきたい。</p> | |
| <p>声が聞こえない(うしろにいます)。授業時間がのびすぎるため休み時間がない。</p> | |
| <p>教室が大きいのでマイクを使うか、声を大きくして欲しかったです。(前の方の席はうまってしまっていました。)</p> | |
| <p>たまに添え字が見にくいです。</p> | |
| <p>たまに周りがうるさくて声が聞こえないときがあるのでマイクを使ってほしい。</p> | |
| <p>黒板写すのが大変です。</p> | <p>それほど多くの文章を書くわけでもないし、大抵は図と式しか書いておりません。そんなに大変だとは思いませんが…。</p> |

| 2年 電子回路 担当者:田中 | |
|--|---|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 内容がかんたんすぎww もっとむずかしい内容を、むずかしいというより一歩ふみ込んだ内容をやったほうが今後のためになると思います。 | 内容が簡単すぎるとは私も思っておりますが、それでも受講者の2割が不可、2割が可です。秀と優をあわせて45%程度ですので、それほど簡単ではないのかもしれないと思っております。ただ、座学では簡単だったかも知れませんが、実技がともなう機械システム設計演習(1)(3年前期)では、期待に応えられるのではないかと考えております。 |
| 簡単すぎます。もっと難しく。これではいいエンジニアが育ちません。 | |
| 配布資料が問題プリントだけなので、教科書のような資料があったほうが復習しやすいと思う。 | |

| 2年 電気回路及び演習 担当者:田中 | |
|---|--|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 電子回路の期末テストの出来が芳しくありませんでした。助けてください。田中先生 | 終わってしまった電子回路の期末テストのことを、このアンケートに書かれても困ります。また、試験後に何か言う前に、試験前に分からないことを質問に来るなどを心がけてください。 |
| 終了直前になって、新しいことを始めるのはやめてほしい。 | つつい切りの良いところまでやってしまったり、早く終わりそうな時は次の予告のつもりで新しいことを話し始めたりしたのですが、問題であるところを知らえている人が多いようですので、なるべく時間内に終わり、次回の予告などは行わないように努力します。 |
| 終了時間にルーズすぎると思う | |
| 楽しかったです。 | そう言ってもらえるとありがたいです。 |
| CDとの合同はやめて下さい。CDと合同になるとうさくてしかたありませんでした。教務課へ CDと合同で321教室はありえません。21Cや22C、6B2などを用意して下さい。 | どうしても、都合により合同で演習を行う場合があります。その際に若干うるさくなることを抑えられなかったことは、私の力不足です。もう少し、静かに行えるように、注意したいとおもいます。なお、教室の都合で、321教室などを使用しましたが、次年度以降は、もう少し、広めの教室を用意するよう心がけます。ただ、100人程度の授業で、21C、22C、6B2などは広すぎるような気がしています。 |

| 3年 信号解析と電機制御 担当者:田中 | |
|--|---|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 事例研究の内容がより理解できたと思います。 | なるべく、他の授業や演習などに関連付けて講義を行っているつもりですので、そのように思っただけで幸いです。 |
| 雑談をもっと増やして欲しい。 | あまり雑談(というか関連の余談)が多いと、他の学生さんに叱られますので、ほどほどにしておきます。 |
| テキスト制にしてくれるので教科書よりも安く、かつ、講義でやる範囲がわかるので、理解しやすいです。 | 本当なら、しっかりとした教科書は自分で選んで所持しておくのが良いとは思いますが、講義のノートとテキストがあれば、とりあえずは、大丈夫かとは思いますが。 |

| 2年 システムダイナミックス 担当者:鈴木 | |
|--|--|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 試験を持ち込み可にして下さい | 人間が判断する時はまず頭の中の知識をもとに考えます。詳細な情報は資料によるとしても基本的な原理だけは頭だけで記憶しなければなりません。そのために持ち込みを不可にしています。 |
| 授業時間を30分早めることがあったが昼食休憩が30分ずつに分散されてしまい、効率が悪いので、早めるのではなく、休講にして後日補講を行ってほしい。 | 出張の必要があったので少し時間をずらしてもらいました。補講を実施すると他の講義とぶつかって都合の悪い人が出るので、できるだけ避けています。 |

| 2年 電気基礎実験 担当者:鈴木, 三宅, 佐藤, (田中) | |
|--|---------------------------------|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 時々、使う道具が不良で大変だった(同様8) | 定期的に部品の更新を行います |
| レポート大変です。(同様4) | レポートを苦勞して書くことにより理解が深まり能力が増します |
| 最後に楽しい実験が来た。電気は見えないものなので実態がつかみにくい部分もあったが全体的に見て、取ってよかったと思っている。(同様6) | 貴重な体験の機会なので全員受講してほしい。 |
| 1つでいいのでレポートの書き方の例を載せてほしい。 | 他人の作ったものをまねるのではなく、自分で作る姿勢が大切です。 |

| 1年 技術日本語表現技法 担当者:渡邊 | |
|---|--|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 自由課題レポートの書きやすい内容とそうでない内容を具体例で示して欲しかった(自分のテーマはデータが少なく書きにくかったの) | 自由課題レポートの例を具体的に示したら、「自由」課題ではなくなってしまいます。自分で十分に下調べをした上で課題を選択すれば、このような問題は無くなると思います。それから、書きやすいとか書きにくいといった基準で物事を判断していると、道を誤りますので、今後はそのような考えは捨ててください。 |
| Excelをもう少し詳しく丁寧に勉強したかった。 | Word, Excel, PowerPoint自体の操作に関して詳しく説明していると、本授業の本来の演習が出来なくなってしまうため、ソフトウェア操作に関しては自習にて修得をしてもらっています。それは初回の授業で伝えてあります。 |
| 情報リテラシーを必修にした方が効率が良いと思う。 | もともとだと思います。1年前期の履修指導(クラス担任ガイダンス)にて指導するようにします。 |
| もう少し説明の速度を落として欲しい | 指摘有り難うございます。授業の説明を進めていくに連れて早口になってしまうので、今後は気をつけます。 |
| プレゼンの時間を増やして発表内容を濃くして欲しい(1件) 発表・質問の時間がもう少し欲しかった(1件) | 現行の持ち時間は発表3分+質疑応答1分ですが、これを例えば発表4分+質疑応答1分の計5分にすると、1クラス60名で300分=5時間(3コマ+30分)必要ですので、これ以上の発表時間増は望めません。確かに3分の発表では十分な内容を発表できないこともありますが、中にはうまくまとめている学生もいます。この授業では、あくまで発表の演習という位置づけですので、この時間で十分だと思っています。 |

| 2年 数値シミュレーション 担当者:渡邊 | |
|----------------------|--|
| 学生からのコメントなし | |

| 2年 数値シミュレーション 担当者:永野 | |
|---|---|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| <p>(Cプログラミングにおける)ポイントに関しては、前期科目のCプログラミング及び演習の最後のほうで習っているため、全体的に使う機会が少ない。授業内で、少し(さらっとでいいので)ポイントの復習をしてもらえるとありがたい。</p> | <p>今後の参考にします。</p> |
| <p>プログラミングについての説明をあと少ししてほしい。</p> | <p>私としては十二分に説明したと思っています。それでもなお、わからない・わかりにくいと思う箇所があるのであれば、学生側から積極的に質問してくれることを強く期待します。</p> |
| <p>前回の内容を使って作るプログラムが多いので、一度わからなくなるとその次以降が全滅するのがつらかったです。</p> | <p>一度わからなくなった時点で、それをそのまま放置することが問題なのではないでしょうか。本科目に限らず、学問とは体系化されていることが重要なのであり、したがって基礎的な内容が理解できなければ発展的内容が理解できないのは当然です。わからないことがあれば、それをそのままにせず、時間をかけて勉強したり教員に質問しにきたりして、必ず解決してください。</p> |
| <p>プリントの文字が読みづらいことがよくありました。パウポ上の色で四角に塗りつぶされている部分がプリント上では反映されていないまたは真っ黒になっていて、中の文字が読めないということもあったので、そのことも考慮し、改善すべきだと思います。(同様意見多数)</p> | <p>文字が読みづらい点については資料作成時に気をつけているのですが、万全ではなかったのは反省します。関連して、配布資料が白黒であるために重要な項目がわからないという指摘がありますが、それは各自でマーカーなどを使用すれば済むことだと思います。</p> |
| <p>簡単過ぎる。もっと難しくしてほしい。 課題の量が多い回があり、プログラミングが得意でない自分はすべて提出できなかった。</p> | <p>難易度の設定については調整中であり、実際昨年度よりやや変更しました。引き続き検討します。</p> |

| 2年 熱力学(2) 担当者:郡 | |
|--|---|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| 例題と問題の解き方の説明を多く入れて欲しい。 | 理論的な説明に重点を置き、『理解する』ことを第一にしています。過去の授業の教訓では、例題の解き方を覚えても、結局、理論的な中身は殆ど理解できていません。確かに、同じ問題を出すと、平均点は上がるのですが、それでは余り役に立ちませんでした。それで今の形態にしています。むしろ、理解するよう『フルに頭を使って』ください。 |
| 自分にとってのレベルは高いように思えたが、社会に出て熱力を使う時は、この程度の内容を理解していなくては駄目なことを痛感した。 | もし単位が取れても、時間を見つけて、再度聴講すると理解が深まります。 |
| 熱力学(2)を受講するのは2回目ですが、1回目より数段よく理解できました。予習復習が大事なことを実感しました。 | 他の授業も、予習復習に努めてください。 |
| 試験の問題量が多く、時間内に全部回答できなかった。問題数を減らして欲しい。 | 一見問題が多いように見えるのは、答えにたどり着きやすいように、細かく小問を設定しているからです。実質的には授業で学習した主要項目を網羅したので、問題数は限られてます。つまり、試験にヤマをはる必要は無いという事です。したがって、あまり改善の余地がないと考えています。 |
| 演習を入れて欲しい | 「内容を削って、演習を入れる」ことを少し考えてみましょう。なかなか削れる部分は無いのですが、要となる課題については、説明を入れるよう時間配分を改善するつもりです。 |
| 授業内容のレベルを落として欲しい:39人中3人 このままのレベルで良い:39人中35人 授業内容のレベルを上げて欲しい:39人中1人 | この授業内容のレベルが社会に出て最低必要限であることは、殆どの方が理解している模様です。教える側も、この内容は授業内だけで十分理解するのはやや難しいと考えています。シラバスにある通り、予習、復習が重要です。あとは、質問を沢山してください。授業中に「質問ありませんか」と尋ねた時、質問した人は皆無でした。 |
| もう一度講義を受けたい項目(上位3件) ・エントロピーについて:39人中18人 ・カルノーサイクルについて:39人中9人 ・ポルトロープ変化について:39人中6人 | 熱力学第二法則のところ、エントロピーの概念は最も大事な項目です。本年度は昨年度よりこの部分の説明を40%程度増やしたカリキュラムにしたのですが、まだ足りないようです。昨年度より平均的な理解度は上がっていますが、来年度は更にこの部分をさらに充実して改善する予定です。 |
| スクリーンが小さくて見えにくい。文字を大きくするか、スクリーンを大きいのに変えて欲しい。 | 今の素材で文字を大きくすると、膨大な量になり、前後関係も理解しにくくなります。基本的には配布したプリントを参照すれば全て記載されています。ブランクの部分の内容が見え難かったようなので、来年度は、この部分の表示時間を少し長く取ります。また、1号館など、スクリーンの大きい教室の配当も、希望しておきます。 |
| スクリーンが暗くて見えづらい。モニターも小さすぎる。1号館の教室に替えて欲しい。 | 配当教室の変更を希望しておきます。 |

| 3年 機械システム設計 担当者:郡 | |
|--|--|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| <p>今回の講義で、自動車の設計には考えることが山ほどあることを知った。</p> | <p>ものづくりの原点は、設計と製作です。この授業では、『普通の自動車』であっても、そこに如何にたくさんの「工夫」が凝らされているかを伝えるのが狙いです。そのため、授業では、膨大な情報を示しましたが、それを無理して覚える必要はありません。社会に出て、新しいものを生み出すときの参考になれば・・と考えています。</p> |
| <p>演習問題と解き方の説明を多く入れて欲しい。</p> | <p>この授業は、必ずしも個々の問題の解き方の習得そのものが狙いではありません。同じ検討をするにしても、これまでに習った方法とは別の考え方もあることを知ってもあうのが目的です。そのため、演習問題自体に時間を割く余裕がありません。疑問がある部分については、個々に質問に来てもらえば、ゆっくり教えます。</p> |
| <p>後半で取り上げた設計法や計画法の話は、1年生もしくは2年生のうちにやっておきたかった。</p> | <p>こうした話の大切さを理解できるのは、3年まで勉強して来たからこそだと思います。前半で取り上げた内容などは、1年から3年前期までの基礎的な科目を受講していないと、何の話かが理解できないと思います。</p> |
| <p>正直、内容は難しかく、課題も多くあったので大変でした。しかし、課題のおかげで内容は理解できました。テストの出来は不安ですが、課題重視で採点するという事なので、良かったと思っています。</p> | <p>この授業は、多くのシステムで構成された機械の設計には、これまでに本学科で学習してきた様々な科目の知識が必要な事を実感してもらおうのが狙いです。それが実感できたら、合格という事です。決して、点数を付けるために授業をしている訳ではありません。</p> |
| <p>自分は自動車が好きなので、個人的には、すごく楽しい授業でした。</p> | <p>この授業では、敢えて専門的な用語を多用し、専門家の常識に立った見方からの説明をしています。自動車業界に限らず、社会の先端の開発現場における『プロの視点』を垣間見て欲しいと考えて教えています。</p> |

| 3年 機械システム設計演習(2) 担当者: 金宮 | |
|--|--|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| <p>・NXTを借りれる日が限られていたためやりづらかった ・レゴロボットの貸し出し時間が短い. それぞれ予定がばらばらなので 毎日使用できるようにしてほしい。</p> | <p>複数の部屋を抑えるのに工夫したんですが、今後は一つの部屋を抑えるべきです。</p> |
| <p>レゴロボットを使って自分で考え設計していく作業が楽しかったです。 プログラムについて説明がほしかったです。</p> | <p>プログラムについて説明時間を作りたいと思います。</p> |
| <p>興味のあるロボットの設計演習だったので、とても楽しく学習できました。</p> | <p>よかった。</p> |
| <p>事業研究との兼ね合いは考えてほしかったです。特に、後期後半は時間が圧倒的に足りませんでした。また、LEGOロボットの使用可能時間が短すぎます。 水曜日や木曜日午前中も使えるようにしてほしい。</p> | <p>一つの部屋を毎日抑えることによって対策したいと思います。</p> |
| <p>3DCADを使うことが難しかったです。授業内で講習を行ってほしい。</p> | <p>そこまでの時間はありません。3DCADを1年次・2年次の授業で勉強すべきではないかと考えております。</p> |
| <p>ネンチェフ先生: 発表後に先生が長く発表者に質問をするため学生側が質問したくても時間がない事が多かった。発表終了→学生が質問→先生, TAの質問や補足にほしいです。また, LEGOを使用できる曜日を増やしてほしいです。火曜日は事例研究が長引いたら使用できず, 水曜日は最もLEGOを使用したいのに使用できず, まともに使用できるのは木, 金曜日しかないので水曜日にも使用できるようにしてほしいです。また, 1~5班は毎回前半に発表で, 6~10班が不利です。対応してほしいです。また, 発表時間10分, 質疑応答5分と決まっていますが, 発表者が時間を守っても先生が時間を守らないのはどうかと思います。</p> | <p>発表後に先生が長く発表者に質問をするため→対応出来ると思います。 1~5班は毎回前半に発表で, 6~10班が不利です。対応してほしいです。→対応出来ると思います。 先生が時間を守らないのはどうかと思います。→ひどい発表だと時間が係るので, 事前に学生に説明したいと思います。</p> |

| 2年 ロボット工学(1) 担当者:金宮 | |
|---|-----------------------------------|
| 学生コメント | 担当者回答 |
| テキストくらい日本語にしてほしい。 英語が多くてわかりにくいです。 | 日本語の言葉を使っていますが、もう少し丁寧に説明したいと思います。 |
| 演習がいきなり小テストだと、点取れる気がしません。授業で数値を入れた問題を少しでも解かせて欲しかったです。 | 理解度をあげるために対応したいと思います。 |